

京都教育大学フォーラム 2018

京都発： 新しい時代の協働的な 「授業研究」の試み



2018.12.15 (土) 13:30 ~ 16:45
(受付 13:00 ~)

会場：キャンパスプラザ京都・第2講義室
京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

参加無料

対象：学校教員、教育委員会関係者、教員養成系大学・学部関係者、学生など

【プログラム】

- 13:30 開会あいさつ
細川 友秀 (京都教育大学長)
- 13:40 趣旨説明
清村 百合子 (京都教育大学教授)
- 14:00 基調講演
柴田 好章 (名古屋大学教授)
「大学と学校現場を結ぶ協働的な授業研究のあり方—名古屋大学と愛知県教育委員会との連携に基づいて—」
- 14:50 話題提供
古賀 松香 (京都教育大学准教授)
「協働研修で拓くこれからの幼児教育—京都府市との取り組みから—」
高橋 詩穂・井上 美鈴 (京都教育大学附属桃山小学校教諭)
「個に焦点化した校内授業研究会の取り組み」
津原 菜里 (京都府城陽市立久世小学校教諭)
「全教員で取り組む教材研究から事後研究までの研修過程」
- 15:35 休憩 -----
- 15:45 パネルディスカッション
「授業研究」を協働的にするためには何が必要か
- 16:40 閉会あいさつ
岩村 伸一 (京都教育大学副学長 (総務・企画担当))
- 16:45 閉会

【趣 旨】

学校教育現場では新学習指導要領の実施に向けて教育の転換が図られようとしています。21世紀の学びを保証するために「問題解決力」や「協働的な学び」が注目される中、教師自身も自ら授業実践を省察し、創造的に解決し、なおかつ協働して取り組む姿勢がいま、求められています。

そこで今回のフォーラムでは21世紀型教育に対応した新しい時代の協働的な「授業研究」はどうあるべきか、その方向性を探ることを目的とし、「授業研究」を協働的にするための具体的な方法について基調講演および話題提供をしていただきます。フォーラムを通して理論と実践の連携を強化し、教員養成および教師教育における「授業研究」の手がかりを得ることを期待しています。

主 催：京都教育大学
後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会

〈問い合わせ先〉
京都教育大学研究協力・附属学校支援課
研究協力・センター機構支援グループ
TEL：075-644-8117
E-mail：kenshien@kyokyo-u.ac.jp

※個別の支援（ノートテイクや移動補助等）が必要な場合は、11月22日（木）までに上記までご連絡願います。

